

地域・保護者・教職員の連携を深める

世田谷区立給田小学校 学校運営委員会通信

平成22年度 第6号
平成22年11月2日
世田谷区立給田小学校
学校運営委員会
委員長 井上健

議題

- 1 学校長より
・職員会議報告
・学校行事等今後の予定
- 2 委員より
・学校運営委員会通信第5号発行
・図書室開放における評価の報告
- 3 委員長より
・今後の学校運営委員会のあり方について
- 4 今後の予定
・同窓会設立のための準備会立ち上げ
・学校運営委員会通信の構成や内容の検討

出席者 井上・清水・岡本・若林
土屋・多田・善方・土橋
安斎・鈴木

10月7日(木)校長室にて第6回
学校運営委員会が行われました。

最初に、土橋校長より職員会議報告がありました。10月下旬から学校公開週間が始まること、23年度以降の土曜日授業の方向性を今後決めていくこと、地域行事とのかわりについてなどの報告がありました。また、来年度、50周年に向けた準備を念頭に入れた組織編成を行う等の話がありました。

井上委員長からは、企業組織を例に、学校運営委員会の位置付けの説明がありました。今後は、委員の入れ替えもあることを考えると、組織や役割を明確にしていき、世田谷9年教育を推進しつつ、給田らしさを打ち出していく必要があるという指摘もありました。

委員からは、学校運営委員会通信の第5号で「世田谷9年教育」をとりあげたねらいなどが報告されました。8月の世田谷区教育フォーラムで、給田小が所属するグループの学舎名やシンボルマーク、教育目標が発表されるなど9年教育に向

けた準備が本格化してきており、みなさま方と共通理解を深めていきたいと考えての特集です。だれもが知りたいと感じる点について、井上先生にQ&A形式で説明していただきました。読者からは「初めて知った」「よく分かった」等かなりの反響があり、今後も様々な形で9年教育について触れていく必要性があると考えています。

また、通信の紙面構成について、次年度も同じ内容を繰り返すと、通信としての役割が薄れてしまうという意見なども出されました。夏休みに行われた教員とのフリー・トークや先日の単P研修会での教員からの言葉などをもっと多くの人に伝えては、というアイデアも出てきました。今後は委員が、学校や地域について感じていること、考えていることを綴っていくことになりました。人と人が集まって話をしていく中で新しいアイデアが出てくる、ということを実感できた今回の学校運営委員会でした。

保護者や地域住民は、先生方とどのように連携していけばよいのですか？

給田小には伝統的に、教職員と保護者・地域住民とのよい関係がありますので、必要以上に「構える」ことはないと思います。ただ、「地域運営学校」(コミュニティ・スクール)として指定されたからには、両者の連携がいつそう強くなることを期待されますし、私たち学校運営委員会もそのために活動しています。

学校行事への参加やボランティア活動をもっと積極的にならなすか？

確かに「地域運営学校」の大きな目的は「保護者や地域住民の教育活動への参画」です。でも、単に行事への参加やボランティアが増えればよい、というわけではありません。大事なことは、何のために連携するのか、どんな学校にしたいのかをみんなで考えていくことなのです。

ななな、このビジョンが大事だ、といっているんですね。

そうですね。「地域運営学校だから、ボランティアをしなくてはいけない」では本末転倒です。ビジョンにも書かれているように、「私たちの子どもが学校」だから、みんなで支えていく、みんなで創っていくという出発点に常に立ち返る

給田小が「地域運営学校」として充実した活動を行うために私たちがどのように連携していけばよいのでしょうか？

「先生方に望みたいことは、どんなことですか？」
一番は、「なぜ、今、地域運営学校なのか」を考えていただくことです。私は、教職員が地域の行事に参加したり、地域住民がゲストティーチャーをすることかなわち地域運営学校だとは思いません。それらは1つの契機あるいは方法に過ぎません。大事なことは、給田小が「給田」という「コミュニティ」にある、という、当たり前ではあるけれど、忘れてしまいがちな事実を日々の教育活動の基盤として重視することではないでしょうか。ビジョンに「給田小の子どもたちは、家族や担任教員以外の大人とふれあう機会が増える」や「給田小の教職員は、クラスや教科を越えて、学校の現状や将来について考えることができるようになる」とあるのは、そうした方向性を明確に打ち出したものですね。では、具体的にどうすれば、...については、簡単ではありませんが、専門職である先生方と共に、私たちもいっしょに考え、行動していきましょう。



教えて！ 井上先生

*給田小の「地域運営学校」としての3つの「ビジョン」については、「通信」第1号あるいは給田小のホームページ・ページの「学校運営委員会」のページをご覧ください。

地域保護者連携・図書委員会

「校務公筆」といふ言葉をよく存知ですか？学校のさまざまな仕事を、先生方が分担することです。いろいろな部会や委員会があり、先生方はそこに所属して活動されています。その中に「地域運営学校」として、地域保護者との連携を推進することを目的とする、「地域保護者連携・図書委員会」という特別委員会があります。そこではどのような活動を行っているのか、リーダーの安部克則先生にお話しを伺いました。



安部克則先生

鳥山にお住まいで、鳥山は山地区民センターのイベントによく参加されています。

Q 普段、地域運営学校をどれくらい意識されていますか？

地域運営学校の3つのビジョンはもろもろ知っていますし、「通信」も毎日、綴じて保存して、折りにふれて読み返しています。ただ、自分の活動の、この部分がビジョンに叶っている、という実感はまだないのが正直なところです。これからも「地域運営学校」を常に心がけたいと思っています。

Q 地域保護者連携・図書委員会の活動内容を教えてください。

大きく分けると次の二つになります。
1、地域運営学校として、地域・保護者との連携を推進する。
2、図書関連・演劇教室・図書ボランティア

ア「虹」や「おはなし泉」の日程調整など。これを、地域ボランティア グリーンサポーターズ 幼少連携 図書・団体貸出 演劇教室 図書ボランティア「虹」 読み聞かせ「おはなし泉」 日本女子体育大学との連携という8つのグループに分け、メンバー7名で分担し、内容の検討や日程の調整を行っています。

委員会の時間は月に一度、15分しかとれません。各担当からの進捗状況の報告を行い、その中の重要な項目について話し合います。メンバー以外の意見が必要な場合は、パソコンで閲覧板を使用したり、アンケートをとったりしています。

Q 地域保護者連携・図書委員会として、何をめざして取り組んでいらっしゃいますか？

地域や保護者に対してもそうですが、特に、子どもに還元できる活動をといたいという思いで取り組んでいます。そうは言っても、子どもに還元できる「いいこと」を全て行うのではなく、それに関わる全ての方に負担にならないものを行うようにしています。「いいこと」というのはたくさんありますが、どこかに負担がかかってしまうとそれが不満となり、長続きしないものです。ですから、無理のない形で行えるように取り入れています。

Q 日本女子体育大学との連携について教えてください。

以前からのスボ（かけっこ教室）などの連携はありましたが、教職課程を専攻している鬼澤先生の学生に、体育を中心とする

授業でサポートしてもらっています。1学期は1年生が、2学期からは3年生がサポートに入ってくれています。



日本女子体育大学3年生の学生さん

休み時間も子どもたちと一緒に縄跳びなどをしてくださいました。夏はプール指導でもお世話になりました。

Q どんな成果がありましたか？

子どもたちが、実際にこれができるようになったなどの成果もありますが、それ以上に大人の目が増えることにより、「指導がより充実した」ということが成果と言えるでしょう。教員からも「助かっている」と言われています。例えば、5年生は今、

体育で鉄棒と幅跳びをしています。担任ひとりではなく学生が入ることにより、指導の充実が図れます。学生のみならずには、難しい技術指導よりも、子どもたちにたくさん声をかけるようにお願いしています。失敗したとき、成功したとき、声をかけてもらうことで子どもたちはより成長します。学生にとっても、いい経験になっていると思います。

Q 日本女子体育大学との連携の今後について教えてください。

体育の授業に関しては、大学の授業の関係で1月までとなります。それ以降は、5年生が鬼澤先生の研究の一環として交流をもちます。また、以前行っていたスボも、来年から復活できるように現在調整を行っています。Qスボ経験者の先生からは当時の問題点を、未経験の先生には疑問点をあげてもらいました。体育の授業とぶつからないように、家庭や体育館を使わずに第2グラウンドで行う予定ですが、正門前道路の横断など、保護者の方にお手伝いをお願いすることも検討しています。その時はどうぞよろしくお願いします。

野球の交流試合へのお願い！！

本校は、以前より日本女子体育大学に様々なご支援をいただいております。ボランティア学生による体育科授業の補助・支援、わくわくフェスティバルにおけるチアリーディング部の参加、Qスボや休日に行われる運動に親しむ機会の提供等、給田地域にさまざまなかたちで貢献してくださっています。

そこで、今年度、給田小の子どもたちにかかわっている学生さんたちと、下記の日程で野球の交流試合・懇親会を企画いたしました。地域のみならず、保護者の方々にご参加いただけましたら、幸いです。澄みきった空のもと、さわやかな汗を流し、いろんなこと語り合いながら、今後ともよりよい関係を深めていきたいと考えています。合い言葉は「繋がる給田、強い給田」です。

参加ご希望の方は、副校長（3308-5671）までご連絡ください。

記
日時：11月27日（土）
午後1：00 集合
（1：00～3：30 試合）
場所：世田谷泉高校グラウンド
懇親会 午後5時～
千歳鳥山駅付近のお店

グリーンサポーターズ

副校長 安齋 和樹

6月中旬に子どもたちと植えたさつまいもが、そろそろ収穫の時期を迎えます。10月中につるを落とし、子どもたちと一緒にいもほりを楽しみたと思います。

この夏は猛暑の上、畑の場所があまり条件としてはよくない屋上でもあったため、しっかりと育つかどうか心配でしたが、何とかおいもができてひと安心です。味は食べてのお楽しみです。



グリーンサポーターズは、発足当初は植栽関係の計画・お手入れ等をす

るためのボランティア団体でしたが、最近では、少しでも子どもたちに、土いじりや植物を育てることに親しんでもらうための活動を多く取り入れるようにし

避難所運営・防災訓練

11月6日(土)

午前10時30分開始(雨天実施)

集合場所：給田小校庭

(雨天時は体育館)

持ち物：上履き



避難所がどのように運営されるかご存知ですか？

いざという時にあわてないために、地域保護者のみなさま、ぜひご参加ください！

内容

避難所運営訓練

避難所運営の4つの役割とは？

避難者名簿の記入

生活スペースの作成体験

仮設トイレの設置

応急救護訓練

地震体験訓練

初期消火訓練

主催 烏山総合支所地域振興課

地域のみなさま・保護者のみなさまへ 第2回学習会「高学年への読み聞かせ」

～高学年向けの絵本選び～

今回の学習会は「おはなし泉」で活躍の須藤裕美さんをお招きして、高学年向けの絵本の紹介や、絵本を選ぶ時の視点などをお話しいただく予定です。

絵本は小さい子のものというイメージがありますが、どんなお話しをしていただけるでしょう。地域のみなさまもどうぞお気軽にご参加ください。お問い合わせは副校長(3308-5671)まで。

日時：11月9日(火)午前10:00～12:00

場所：給田小学校 1階図書室

また、メンバー皆で本を選ぶので、たくさんのお母さんと知り会えたり、自分では手に取らないような絵本と出会い、いろいろな意味で世界が広がったことは、思いもよらない発見でした。

これからは読み聞かせを通して、私たちは自分子ども以外の多くの子どもたちと触れ合いたいと考えています。

朝の時間の読み聞かせ
各クラス、月に1回、8:20～8:30の10分間に読み聞かせをおこなっています。また、高学年を中心に年に1回、先生方とメンバーが役を決めて本を読む「読み合わせ」は子どもたちに大人気です。



朝の時間の読み聞かせ
各クラス、月に1回、8:20～8:30の10分間に読み聞かせをおこなっています。また、高学年を中心に年に1回、先生方とメンバーが役を決めて本を読む「読み合わせ」は子どもたちに大人気です。

今年、自由研究の調べ物をしに来た子や保護者の姿も見られました。期間中、毎日のように来てくれた子どももいました。16冊も本を借りてくれた子どももいました。

図書室を訪れるのは、本を借りるためだけではありません。どちらかというと、借りない子どもの方が多いくらいでした。普段から、「本を持ち帰るのが重いので、図書室で読む」子どもも少なくないそうです。

図書室を訪れるのは、本を借りるためだけではありません。どちらかというと、借りない子どもの方が多いくらいでした。普段から、「本を持ち帰るのが重いので、図書室で読む」子どもも少なくないそうです。

図書室を訪れるのは、本を借りるためだけではありません。どちらかというと、借りない子どもの方が多いくらいでした。普段から、「本を持ち帰るのが重いので、図書室で読む」子どもも少なくないそうです。

図書室を訪れるのは、本を借りるためだけではありません。どちらかというと、借りない子どもの方が多いくらいでした。普段から、「本を持ち帰るのが重いので、図書室で読む」子どもも少なくないそうです。

楽しい一日をありがとうございました

第60回 給田町会運動会

毎朝、給田小の校門で子どもたちに「おはよう」の挨拶をしてくださっている池亀安衛さんは、給田町会の役員さんで、運動会でも活躍されています。池亀さんに今年60回を迎えた給田町会運動会への思いを綴っていただきました。

給田町会役員 池亀安衛

今年の運動会は10月11日、さわやかな秋晴れのもと、烏山小学校の校庭をお借りしておこなわれました。

思い起こせば、第1回の運動会は、岩佐女子学園（現在の佼成学園女子中等学校）の校庭をお借りして子どもたちが主体で行いました。賞品は町内のみなさんに寄付していただきました。警視庁の吹奏楽がグラウンドを進行して花を添えてくれたことを覚えていきます。

今では忘却の彼方、当時友人たち数人で撮ったスナップ写真に縁を感じます。学生、社会人となり、地域から離れて行った仲間たちとまた一緒に今度は運営のお手伝いができることに喜びを感じます。

今回は60回の記念に、日本女子体育大学のチアリーディング部に総勢31名で華麗な演技を披露していただき、お祝いの言葉を



■最高の気分！池亀安衛さん
日本女子体育大学チアリーディング部によるチア体験



力いっぱい走る！給田小の子どもたち

楽しいで～す！校長先生

添えていただきました。これには運動会の運営に携わった全員が感激・感動！

その後、チアリーディング部の指導で全員参加の「チューチュートトレイン」が見事に決まり、（28競技88レース、延べ千百十二名の参加）全競技が終了しました。

お楽しみ抽選会では、70名を超える幸運な方が続出。景品を提供して下さった企業（烏山地区からも提供いただきました）のみなさま本当にありがとうございました。参加者全員に健康と安心の喜びを与えられるよう、町会役員一同、努力してまいります。

来年度は給田小学校の校庭でお会いしましょう！

応援に来ました！
給田小の先生方

地域でも大活躍！
田中委員・土屋委員



千歳民俗資料保存会

会長 麻生 則行

「古民家のある小学校」と呼ばれるのにふさわしい古民家であるように、月に1回ですが、千歳民俗資料保存会の会員が子どもたちと掃除をします。はたきでほこりを落とし、ほうきで掃き、ちりとりでとる。雑巾がけをするなど、日本の昔からの掃除の仕方を子どもたちに教えながら、一緒に古民家をきれいにします。

また、12月4日（土）には、保存会主催で、「もちつき」を行う予定です。この地域に伝わる伝統の「かけつき」を披露し、つきたてのおもちをふるまいます。

みなさま、ぜひ給田小に足をお運びください。

毎月第3木曜日(1:00~)

古民家の掃除をします！地域・保護者のみなさまもどうぞ参加ください。

12月は大掃除の予定です。



10月21日(木)千歳民俗資料保存会、せたがや創造塾、6年生の児童たち、そして校長先生も一緒に掃除をしました。

あとがき

子どもが今年給田小学校を卒業しました。中学校に通うようになってあらためて、小学校でどんなことを学んだのか、みえてきます。小学校での生活や体験が基礎となつて、それを生かして中学校生活を送っているんだなと思います。

来年度から始まる「世田谷9年教育」では、15歳までにどんな子どもに育ってほしいのか、という見通しが今まで以上に求められると、先月の学校運営委員会通信に掲載されていました。

小学校でどんなふうに通わせれば、充実した中学校生活を送れるのでしょうか？小学生は、どんな中学生の姿に憧れを感じるのでしょうか？

これからは、小学生の保護者は、まだ通っていない中学校やそこで生活する中学生のことを考えてみる。中学生の保護者は、わが子の小学生時代を振り返りながら今の小学校のことを考えてみる。もちろん、高校生・大学生の保護者も、未就学のお子さんのいる方も、「孫育て」をしている方も。

地域の人が一緒になって、まず、小学校や中学校がどんなふうだったらいいたろうか？そこにはどんな子ども達が通っているのだろうか？と、考えてみる。それをまわりの人と少し話してみるだけで意識は変わるのではないのでしょうか。

そのことを通して、この給田という地域が、子ども達の健やかな成長を願う人のたくさんいる地域になってほしいと願っています。

学校運営委員会

委員 岡本文恵

